

令和4年3月24日（木）オンライン

コロナ禍における職員等の過重労働・メンタルヘルス対策（対応）

群馬県利根沼田保健福祉事務所
（兼）吾妻保健福祉事務所

保健所長 武智浩之



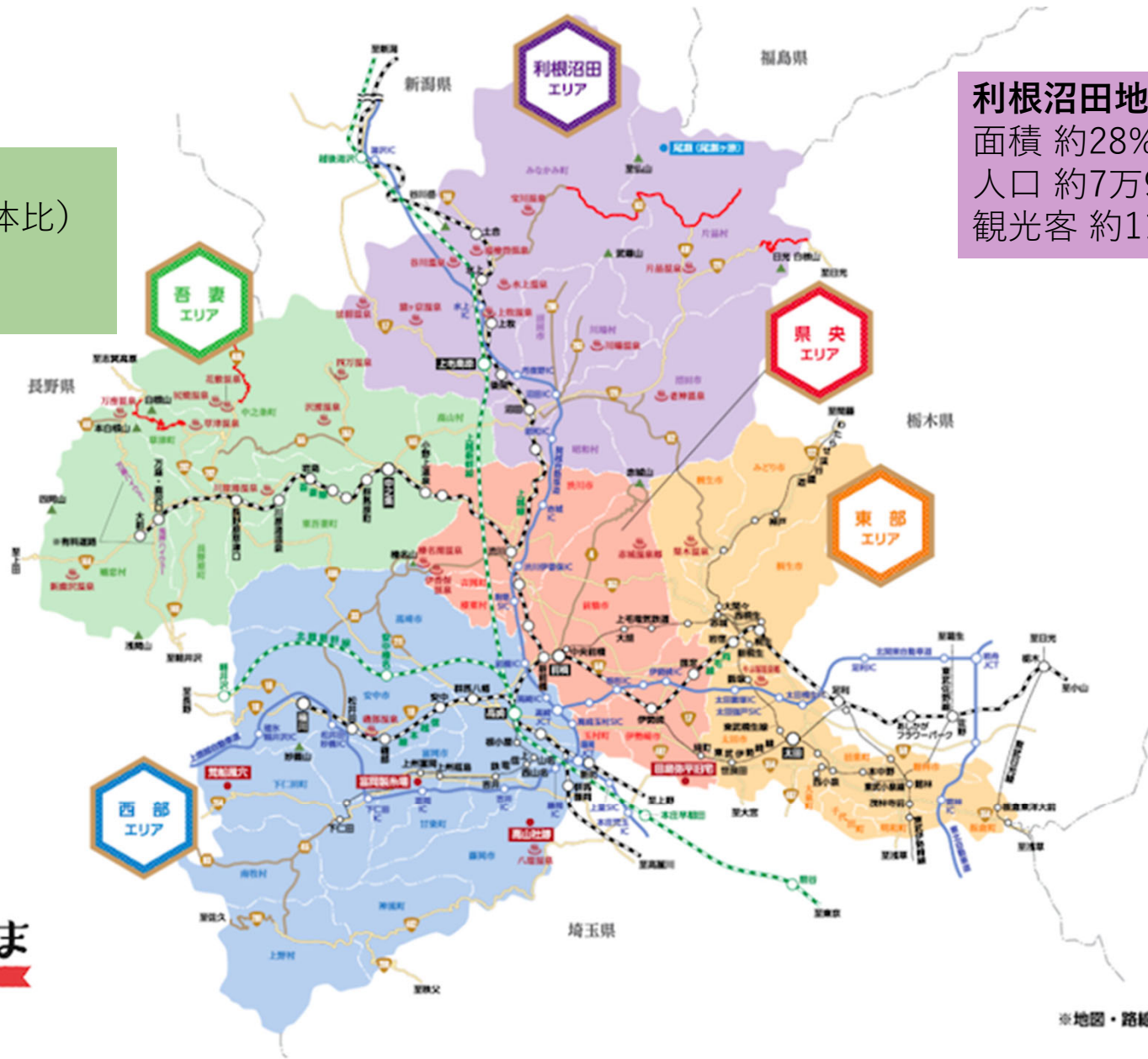


吾妻地域

面積 約20% (県全体比)
人口 約5万3000人
観光客 約900万人

利根沼田地域

面積 約28% (県全体比)
人口 約7万9000人
観光客 約1140万人

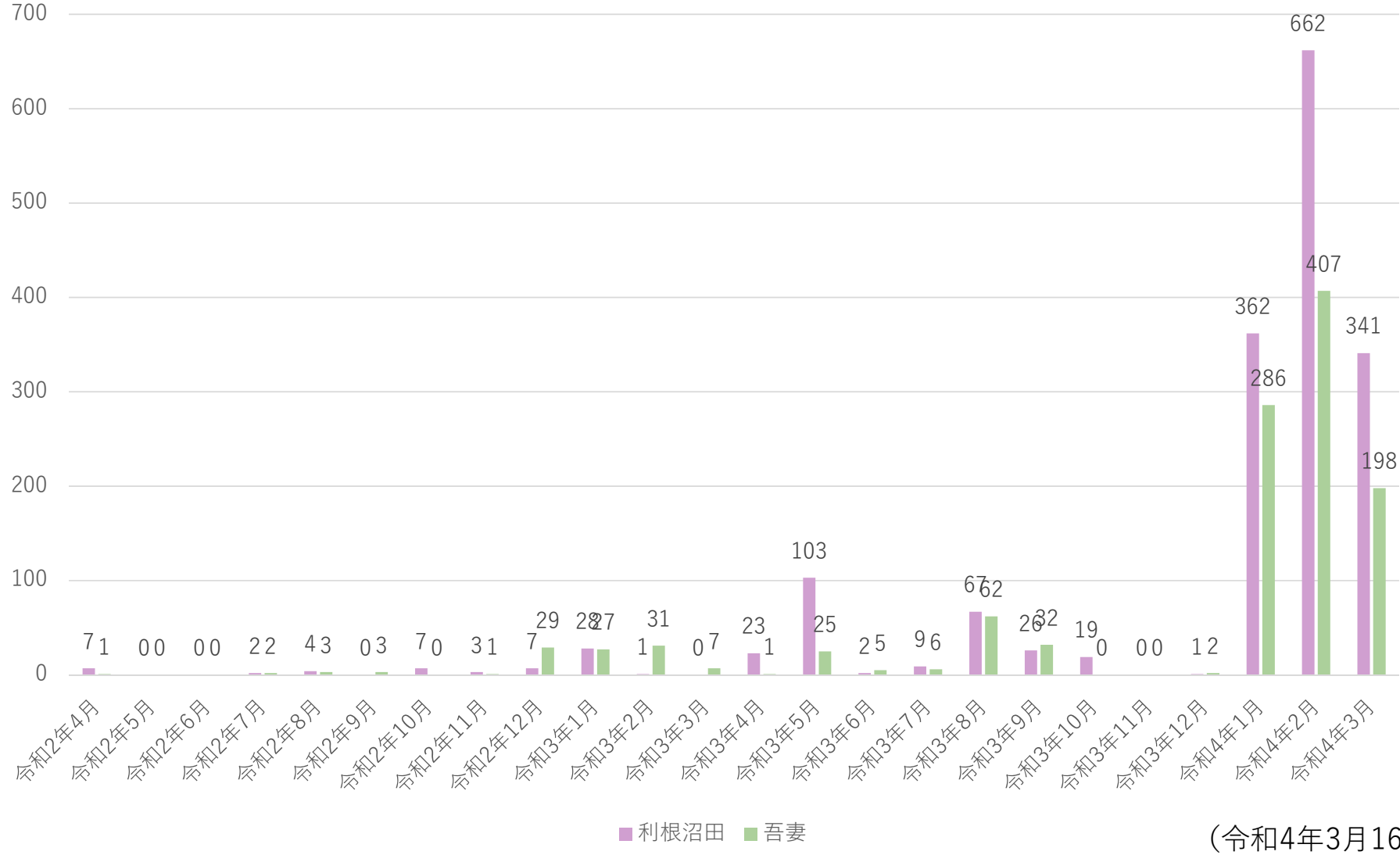


ようこそ、ぐんまへ。
ググっとぐんま
ググっとぐんま公式サイト

※地図・路線図は略図です。

新型コロナウイルス感染症陽性者数の推移

(人)



(令和4年3月16日まで)

職員等の過重労働・メンタルヘルス対策（対応）

利根沼田

- 一にも二にも **全所体制の構築**

そのために必要なもの、こと

- ・ 全ての職員向けの陽性者対応のマニュアルづくりとそのブラッシュアップ
- ・ 新型コロナに関する最新情報の共有
- ・ 新型コロナの対応方針の迅速で統一された変更と修正
- ・ 土日祝日当番の見える化、均等化

吾妻

- 一にも二にも **休暇が取得できる職場環境の整備**

→週に1日は平日に年休もしくは振替を取得

そのために必要なもの、こと

- ・ 地域振興局や県庁の部局からの応援
- ・ 会計年度職員の採用
- ・ 全所体制

これは、第5波までのこと。
第6波では対応が困難になることも多く、職員に過剰な負担を長期にわたって強いることになっています。
感染症担当係（課）が疲弊しているときは、事務所全体も疲弊している。また、それだけではなく、地域全体も疲弊している、ことを実感しています。

追記事項

利根沼田

- コロナ受け入れ病院で起きた院内感染拡大時に病院職員のメンタルサポートを実施しました。
理由：クラスター発生時に当該病院が職員向けの緊急アンケートを実施したところ、「休職や退職したいと考えている職員」が職員全体の25%いました。
そこですぐに支援することとしました。
 - ・群馬県こころの健康センター（精神保健福祉センター）への協力依頼と派遣調整を実施。
 - ・群馬県こころの健康センターから、精神科医師、保健師が病院へ出向き、病院としての対応について助言と職員の個別相談を実施。

利根沼田と吾妻

- 管内の病院の看護部長からの相談に随時対応しています。
理由：新型コロナウイルス感染症に関して、病院職員が不安に感じていることも多いのが現状です。
職員からの相談は看護部長が対応していることが多いものの、看護部長自身には相談先がなく抱え込みやすくなっています。
そこで、些細な案件であっても看護部長からの相談対応を行うようにしています。
また、両事務所主催の地域自殺対策会議において、病院に対して実施した上記支援に関する講演していただき、病院職員のメンタルサポートの必要性について意見交換しました。